

【概要と目的】

先導性の高い住宅・建築物の省エネ・省CO2プロジェクトについて民間等から提案を募り、支援を行う

事業の成果等を広く公表することで、取り組みの広がりや社会全体の意識啓発に寄与することを期待

【省エネ・省CO2の実現性に優れたリーディングプロジェクトのイメージ】

先導技術の一例

建築物

住宅

- パーソナル空調、照明の可変・ゾーニング制御等のウェルネス空間の創出
- 熱・電力融通、エリア熱回収等の広域でのエネルギーマネジメント
- 避難者受け入れ等のBCP・LCPの拠点の整備
- 生ゴミ発電、井水HP等の未利用エネルギーの活用

- 地域の卓越風の最適利用による省エネ化
- 高い断熱性能による省エネ化
- 太陽光発電と蓄電池の併用によるレジリエンス性の向上
- HEMSによるエネルギー消費の最適制御

「先進性」と「普及・波及性」を兼ね備えたプロジェクトを先導的と評価

- ・学識経験者から構成される評価委員会において評価し、採択を決定
- ・「ライフサイクルカーボンをよりの確に算出し削減する取組」に資するプロジェクト等を積極的に評価

【対象となる事業】

	建築物(非住宅)		住宅
	一般※	中小規模建築物	一般※ (戸建、共同)
新築	○	○	○
改修	○	—	○

※省CO2に係るマネジメントシステムの整備や技術の検証事業も対象

【補助額・スケジュール等】

- <補助対象> 設計費、建設工事費等のうち、先導的と評価された部分
- <補助率> 補助対象工事の1/2 等
- <限度額> 原則3億円／プロジェクト 等
- <事業期間> 採択年度を含め原則4年以内 等